



発行：原子力発電環境整備機構（NUMO）

<http://www.numo.or.jp/>



日差しも強くなり、冷たい飲み物がおいしく感じられる季節となりましたね。

本日は、全国シンポジウム開催報告と次回以降のご案内、ジオ・ミライ号の訪問予定などの情報をお届けします。

《目次》-----

◆お知らせ/イベント情報など

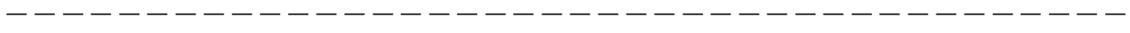
【開催報告と今後の予定】『全国シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分」

～科学的特性マップの提示に向けて～』を東京・富山・福岡会場で開催しました

6月開催予定の会場は引き続きお申し込み受付中です

【開催案内】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」のスケジュールをお知らせします

◆NUMOのひと



◆お知らせ/イベント情報など

【開催報告と今後の予定】『全国シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分」

～科学的特性マップの提示に向けて～』を東京・富山・福岡会場で開催しました

6月開催予定の会場は引き続きお申し込み受付中です

今月から始まった全国シンポジウムでは、5月14日（日）の東京会場に約300名、5月20日（土）の富山会場に約70名、5月21日（日）の福岡会場に約100名の方にご参加いただきました。

国は、高レベル放射性廃棄物の最終処分について、日本の地下環境等の科学的特性を客観的に表す全国地図を「科学的特性マップ」として示し、国民の皆さまの関心と理解を深めていく方針です。

科学的特性マップの提示を契機として、どのような取り組みを進めていくべきか、皆さまと一緒に考えていきたいと思えます。

明日[5月27日（土）]は札幌会場で開催します。引き続き、高松会場以降はお申し込み受付中です。皆さまのご参加をお待ちしております！！

▽『全国シンポジウム』お申し込みなど詳細はこちらから

<https://www.numo.or.jp/chisou-sympo/2017/>

開催地	開催日	開催場所
札幌	5月27日（土）	ロイトン札幌 ※札幌会場のお申し込み受付は終了しました。
高松	6月3日（土）	サンポートホール高松
仙台	6月4日（日）	ハーネル仙台

名古屋	6月11日(日)	メルパルク名古屋
広島	6月17日(土)	JAビル
大阪	6月18日(日)	梅田スカイビル

■開催時間

開場・受付 13:00／開会 13:30／閉会 16:00 (予定)

■プログラム

- ・NUMO・資源エネルギー庁からの説明
- ・パネルディスカッション
- ・参加者との意見交換・質疑応答

【開催案内】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」のスケジュールをお知らせします

コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」は、今週末、以下を訪問します。

《日時》

5月27日(土)・28日(日) 10:00～16:00

《場所》

前橋中央児童遊園 るなばあく(群馬県前橋市)

たくさんのご参加をお待ちしております！

▽「ジオ・ミライ号」の予定はこちらから

<http://www.numo.or.jp/topics/201717051811.html>

ホームページ「よくあるご質問」のランキングを更新しました！

◆◆NUMOホームページ「よくあるご質問」をご活用ください◆◆

http://www.numo.or.jp/q_and_a/

【NUMOのひと】

技術部の浜本と申します。私は2015年にNUMOに入構し、今年が3年目になります。

私の業務は、地層処分における地下深部の地層と人工バリアによる放射性物質の閉じ込めを評価し、放射性廃棄物が人間の生活環境に影響を及ぼさないことを確かめることです。評価する方法は2つ考えられます。1つは、実際にテストすることです。つまり、試作品をつくって、期待されている性能を満たすことを確かめれば良いわけです。ところが、地層処分には数万年以上の非常に長い期間にわたる安全性が求められるため、実際に数万年間の性能を確かめることはできません。そこで2つ目の方法として、シミュレーション、つまり、今わかっている情報から遠い将来の処分場や周辺環境の状態を模擬するという方法を使っています。

シミュレーションと聞くと、皆さんはどういったことを思い浮かべるでしょうか。ゲームや映画などに使われるコンピュータグラフィックを思い浮かべるかもしれません。ここでいうシミュレーションとは、実際と似た状態を数式などを使ってつくりだし、コンピュータを使った計算を繰り返して現象の特性を把握することです。世界の人口の推移や地球温暖化による気温上昇などを予測することにも用いられています。

さて、私は学生時代からビリヤードを趣味にしています。ビリヤードの面白いところのひとつは、ボールの動きを頭の中で思い浮かべ、そのとおりにボールをコントロールすることです。これも、ある意味シミュレーションです。熟練者ほど、コントロールが上手であることにくわえ、様々なパターンのシミュレーションを行ったうえで次の一手を考えています。

地層処分場のシミュレーションについても同じことが言えると思います。より信頼性の高い結果を得るためには、様々なパターンを想定してシミュレーションを行うことが必要です。NUMOは最新の知見を取り入れてシミュレーションを行い、その結果から次にどういった解析を行うべきか、解析のどの部分をより精緻に検討すべきかを考えています。

ビリヤードが上達するまでには、毎日コツコツと経験を積んでいくことが重要でした。安全に地層処分事業が実現できるよう、今後も日々努力を続けていきます。

NUMOは経済産業省資源エネルギー庁とともに5月より全国シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分～科学的特性マップの提示に向けて～」を開催しています。私は6月18日の大阪会場で運営スタッフとして参加する予定です。ご興味がありましたら、お越し下さい。お会いできることを楽しみにしております。

メルマガ登録はこちらから <http://www.numo.or.jp/mailmagazine/>

メルマガ解除はこちらから webmaster@numo.or.jp

(件名に「メルマガ解除」と記載してください)

ご意見、ご感想はこちらから webmaster@numo.or.jp

〔連絡先〕 地域交流部 TEL 03-6371-4003
